

主な出来事

【内政】

●5月3日、国境なき記者団(RSF)の、「世界報道自由度ランキング 2024」においてアンゴラは104位となり、前年から21ランク上昇。

●5月28日、アンゴラ政府は、官民企業における全国最低賃金の段階的引上げ(2年間で3.2万クワンザから7万クワンザ)と公務員給与の25%引上げを決定。これを受け、労働組合は6月3日から予定していたゼネスト第三期の延期を発表。

【外交】

●5月10日、アンゴラは第10回国際連合緊急特別総会におけるパレスチナの国連加盟を承認する決議に賛成票を投じた。

【経済】

●5月10日、米・アンゴラ両国は、米企業がアンゴラで行う太陽光発電所建設事業、橋梁建設事業、ラジオ関連機器設置及びラジオ局・システムの近代化事業に対して米国が計13億米ドルを投資することに合意。

●国家統計局(INE)によれば、4月のインフレ率は前月比2.61%、前年同月比28.20%を記録。

* 本月報は当地主要紙 Jornal de Angola 紙を中心に、月末現在の報道などの公開情報を大使館で取りまとめたものです。

内政

1. 報道自由度ランキングの上昇

5月3日の「世界報道の自由の日」に合わせて、仏非政府組織である国境なき記者団(RSF)は、「世界報道自由度ランキング 2024」を発表。アンゴラの順位は、前年の125位から104位へと21ランク上昇した。

2. 家族農業と食料安全保障強化への支援

5月15日、アンゴラ政府は、850億クワンザ(9400万ユーロ)相当を投じる「家族農業の加速と食料安全保障の強化のためのプログラム」を承認。同プログラムは、市場向けの林産物の家族生産加速、技術訓練のレベル強化、家族農業向け融資の提供、家族収入の増加及び農産物の質・栄養問題・食糧自給問題の改善を目的としている。

3. 副大臣3名の任命

5月16日、ロウレンソ大統領は新たにカストロ・パウリーノ・カマラーダ農林副大臣(農業・畜産業担当)、ジョアン・マヌエル・バトロメウ・ダ・クーニャ農林副大臣(林業担当)、カルロス・マヌエル・デ・カルヴァーリョ・ロドリゲス工業商務副大臣(工業担当)を任命。

4. 都市交通機関強化に向けた新型バス600台の購入

5月20日、ロウレンソ大統領は公共交通機関の混雑を緩和するため、新型バス600台の購入に対する約3億2,000万ユーロの支出を承認した。

5. 全国最低賃金の引上げ

5月28日、アンゴラ政府は労働組合と協議した結果、官民企業における全国最低賃金の段階的引上げ(2年間で3.2万クワンザから7万クワンザ)と公務員給与の25%引上げを決定。これを受け、労働組合は6月3日から予定していたゼネスト第三期の延期を発表した。

6. マタラ水力発電所開所式へのロウレンソ大統領の出席

5月31日、ウイラ州クネネ川流域に位置するマタラ水力発電所の再建にかかる開所式が実施された。再建により同発電所の発電量は27.2メガワットから40.8メガワットに増加し、周辺住民2万2千人以上に裨益することが見込まれている。開所式に出席したロウレンソ大統領は、エネルギーの生産・供給における課題解決に注力している旨発言した。

外交

1. 国連総会におけるパレスチナの国連加盟承認にかかる決議への投票

5月10日、第10回国連緊急特別総会におけるパレスチナの国連加盟を承認する決議への投票において、アンゴラは賛成票を投じた(賛成143票、反対9票、棄権25票)。

2. ウクライナ和平サミットへの招待を辞退

アンゴラ大統領府は、ロウレンソ大統領が6月に開催されるウクライナ和平サミットへのゼレンスキー／ウクライナ大統領の招待を、日程上の理由により辞退したことを発表。ロウレンソ大統領は、ゼレンスキー大統領との電話会談にて、ロシアとウクライナの紛争に関し、平和的かつ永続的な解決策を模索することを支持するアンゴラの立場を改めて強調した。

3. 国連中央アフリカ安全保障問題常設協議委員会(UNSAC)の議長国就任

5月21日、ルアンダにて開催された中央アフリカ安全保障問題に関する常設諮問委員会(UNSAC)の第57回閣僚会合において、アンゴラが同委員会の議長国に就任することが決定。UNSACは、アンゴラ、ブルンジ、ガボン、カメルーン、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国(DRC)、サントメ・プリンシペ、ルワンダ、中央アフリカ共和国(CAR)、赤道ギニアで構成されている。

経済

1. 米企業・機関のロウレンソ大統領との面会

5月6日、米11企業、2機関、2融資機関(EximBank、ミレニアム挑戦公社)は訪米中のロウレンソ大統領と面会。面会した企業は、アンゴラにおける今後のビジネス・投資の展望につき大統領と意見交換を実施。

2. 第16回米・アフリカ・ビジネスサミットへのロウレンソ大統領の参加

5月7日、訪米中のロウレンソ大統領は、第16回米・アフリカ・ビジネスサミット(6～9日開催)の第4・6パネルディスカッションに登壇。ビジネスサミットの主催者である米国アフリカビジネス協議会(CCA)は、ロウレンソ大統領の意向を受けて、次回サミットをアンゴラで開催する可能性を示唆した。

3. 米によるロビト回廊への投資合意への署名

5月7日、米・アンゴラ両国はグローバル・インフラ投資パートナーシップ(PGI)の一環として、アンゴラにおける3つの事業に対する米国による計13億米ドルの融資にかかる署名を実施。Sun Africa社による太陽光発電所建設事業、Acrow Bridge社による橋梁建設事業、GatesAir社の支援に基づくラジオ機器設置、システム及びラジオ局の近代化事業に投資される。

4. 「南部回廊」のコンセッション国際公募を発表

5月19日、デ・アブレウ運輸大臣はナミベ港とモサメデス鉄道を含む「南部回廊」におけるコンセッ

ション契約の国際公募を 7 月に開始すると発表。
デ・アブレウ大臣は、同回廊はナミビアやザンビア
への拡張が構想されており、拡張にかかる投資は
コンセッション契約落札者の責務となると述べた。

5. 4月のインフレ率

国家統計局(INE)によれば、4月のインフレ率は
前月比 2.61%、前年同月比 28.20%を記録。

(了)